

# 高齢者虐待防止のための指針

社会福祉法人恵里会

ケアハウス光の海

## 1. 基本的な考え方

ケアハウス光の海では、入居者への虐待は人権侵害であり、犯罪行為であると認識し、高齢者虐待防止法の理念に基づき、高齢者虐待の禁止、予防及び早期発見を徹底するため、本指針を策定し、すべての職員は本指針に従い、業務にあたることとする。

## 2. 虐待の定義

### (1) 身体的虐待

暴力的行為等で入居者の身体に外傷や痛みを与える又はそのおそれのある行為を加えること。また、正当な理由なく身体を拘束すること。

### (2) 介護・世話の放棄・放任（ネグレクト）

意図的であるか、結果的であるかを問わず、行うべきサービスの提供を放棄又は放任し、入居者の生活環境や身体・精神状態を悪化させること。

### (3) 心理的虐待

脅しや侮辱等の言葉や威圧的な態度、無視、嫌がらせ等によって入居者に精神的、情緒的な苦痛を与えること。

### (4) 性的虐待

入居者にわいせつな行為をすること。又は入居者にわいせつな行為をさせること。

### (5) 経済的虐待

入居者の合意なしに財産や金銭を使用し、本人の希望する金銭の使用を理由なく制限すること。

## 3. 虐待防止に係る委員会の設置

(1) ケアハウス光の海は、虐待の防止及び早期発見への組織的対応を図ることを目的に、設置要綱に基づき虐待防止委員会（以下「委員会」という。）を設置するとともに、虐待防止に関する措置を適切に実施するための担当者を定めることとする。

(2) 委員会の審議事項は次のとおりとする。

- ① 虐待に対する基本理念、行動規範等及び職員への周知に関すること。
- ② 虐待防止のための指針の整備に関すること。
- ③ 職員の虐待防止のための研修、人権意識を高めるための研修に関すること。
- ④ 虐待予防、早期発見に向けた取り組みに関すること。
- ⑤ 虐待が発生した場合に、その対応に関すること。
- ⑥ 虐待の原因分析と再発防止策に関すること。

#### **4. 虐待防止のための職員研修に関する基本方針**

- (1) 職員に対する権利擁護及び高齢者虐待防止のための研修は、基礎的内容等の適切な知識を普及・啓発するものであるとともに、本指針に基づき、権利擁護及び虐待防止を徹底する内容とする。
- (2) 研修は年1回以上実施することとする。また、新任者には別途、虐待防止のための研修を実施することとする。
- (3) 研修の実施内容については、研修資料、実施概要、出席者名簿等を記録し、保存することとする。

#### **5. 虐待等が発生した場合の対応方法に関する基本方針**

- (1) 虐待等が発生した場合は、速やかに市に報告するとともに、その要因の速やかな除去に努める。客観的な事実確認の結果、虐待者が職員であった場合は、役職位等の如何を問わず、厳正に対処する。
- (2) 緊急性の高い事案の場合は、市及び警察等の協力を仰ぎ、被虐待者の権利と生命の保全を最優先する。

#### **6. 虐待等が発生した場合の相談報告体制に関する事項**

- (1) 入居者、入居者家族、職員等から虐待の通報を受けた場合は、本指針に従って対応する。
- (2) 施設外において虐待等が疑われる場合は、関係機関に報告し、速やかな解決につなげるよう努める。
- (3) 施設内で虐待等が疑われる場合は、虐待防止担当者に報告し、速やかな解決につなげるよう努める。
- (4) 施設内における高齢者虐待は、外部から把握しにくいことが特徴であることを認識し、職員は日頃から虐待の早期発見に努めなければならない。
- (5) 施設内において虐待が疑われる事案が発生した場合は、速やかに委員会を開催し、事実関係を確認するとともに、必要に応じて関係機関に通報する。
- (6) 必要に応じて、事実を公表し、関係機関や地域住民等に説明を行う。
- (7) 虐待が発生した場合の対応については、「市町村・都道府県に高齢者虐待への対応と養護者支援について（厚生労働省老健局）」を参考に、対応する。

#### **7. 成年後見制度の利用支援**

利用者及びその家族に対して、利用可能な権利擁護事業等の情報を提供し、必要に応じて、社会福祉協議会、市の関係窓口を案内する等の支援を行う。

## 8. 虐待等に係る苦情解決方法に関する事項

- (1) 虐待等の苦情相談については、苦情受付担当者は受け付けた内容を苦情解決責任者に報告する。
- (2) 苦情相談窓口で受け付けた内容は、個人情報の取扱いに留意し、相談者に不利益が生じないよう細心の注意を払って対処する。
- (3) 相談受付後の対応は、「6. 虐待等が発生した場合の相談報告体制に関する事項」によるものとする。
- (4) 対応の結果は相談者にも報告する。

## 9. 入居者等に対する指針の閲覧

職員、入居者及びその家族をはじめ、外部の者に対しても、本指針をいつでも閲覧できるよう、事務室に備え付けることとする。また、施設ホームページにも公開する。

## 10. その他虐待防止の推進のために必要な事項

権利擁護及び高齢者虐待防止等のための内部研修のほか、外部研修にも積極的に参加し、入居者の権利擁護とサービスの質の向上を目指すよう努める。

附則

この指針は、令和3年4月1日より施行する。

附則

この指針は、令和6年2月1日から施行する。